

報 告 書

開催日時	平成 26 年 5 月 13 日 (火) 19 時 00 分 ～ 20 時 50 分	
開催場所	小友町ふるさとセンター	
出席議員	挨拶 佐藤信一	
	司会進行	菅野広紀
	報告者	佐々木一義
	記録者	菅野 定、伊勢 純
	議員	伊藤明彦
参加人数	11 名	事務局 2 名
主な要望 ・提言等	<p>○懇談会には、口頭での説明だけでなく配布資料があると良い。</p> <p>○主財源に不安がある。</p> <p>○小友小学校の再建を取り組まない理由は、なにか。 現在の学校は三方向が道路で囲まれており、生徒の避難が困難で危険である。立地条件が悪いのだがどのように考えているのか。</p> <p>○道路の改修について、国道 4 5 号の沼田の信号機付近のところの水没するようなことがあれば困るので、改修を優先させて計画して欲しい。</p> <p>○農免道の改修の予定はどうなっているか。</p> <p>○人口対策をまちづくりと合わせ、考えてほしい。</p> <p>○公債費比率が 18%ほどなので問題だ。</p> <p>○市のビジョンや議会のビジョンがない。 市の負債を専門に検討する議員がいても良いのではと思う。</p> <p>○トラクター等の農業機械購入に補助があることを知らない人が多い。</p> <p>○TPP で小規模農家がつぶされるのではと心配だ。</p> <p>○商店街の再建について、議員も提案してほしい。</p> <p>○基幹産業として農業は大切であるのに、なぜイオンが市内の重要な稲作地域に出店できたのか。</p> <p>○市は長期ビジョンをもって計画を立ててほしい。 たとえば、小友に桜を 5000 本植えるといった取り組みなどはどうか。</p> <p>○百姓がいなくなってしまうので、生活が安定できるような農業対策を早く立てて進めてほしい。</p> <p>○バイオプラントの誘致を研究所の誘致と合わせて進めてほしい。</p> <p>○環境保全型農業のさまざまな農業に対して、補助をしてほしい。</p> <p>○議員には将来の灯となってほしい。</p> <p>○西之坊地域は、現在 35 世帯だが公営住宅を入れると 150 世帯ほどに増える</p>	

	<p>見込みなので、新たな行政区の分割を考えて欲しい。</p> <p>○ごみステーションの補助をさかのぼっての対応を望む。</p> <p>○公営住宅のごみの管理を公営住宅単位にまかせる取り組みは可能か。</p> <p>○復興計画の見直しの方法はどうか。また、市民意見をどのように入れるのか。</p> <p>○地域の計画を地域から発信していくためには、行政にお願いするには。どのような方法があるのか。</p> <p>○市の総合計画はつくるのか。</p> <p>○市民意見は団体トップだけではなく、個人の意見も反映させてほしい。</p> <p>○防潮堤工事で漁業への影響等を市議会では審議したのか。</p> <p>○公民館の建設補助を 2000 万円にしてほしい。</p>
<p>所 感</p>	<p>○伊勢 純</p> <p>「協働のまちづくり」の進展が望まれていることを強く感じた。参加者からは、自助努力を惜しまず、その上で市政としての力強い方向性を求める意見が多く出された。10年後の将来の展望を求める意見も多く、復興計画で打ち出されている将来の陸前高田市のまちの姿をもっと具体的に伝えていく必要があると思った。市民の「やる気」が存分にあふれるこの時期を逃さず、「協働」を進める工夫を考えていきたい。</p> <p>○菅野 定</p> <p>特に国道45号線沼田の交差点付近が大雨や大潮に水没しそうなので、かさ上げの改修を望むなど、今まで我慢していた要望が具体的に出てきた。今できるもの、少し先延ばしできるもの、できないものを分けて判断させていただき、市、県に順序だてて、働きかけていかなければならないと思う。</p> <p>また、陸前高田市のまちづくりの長期ビジョンを表していないので、市民は家や店をどこに建てるとか、どのようにすれば無駄なく安心して生活ができるのか決めかねているようだ。商店街の再建には議員の提案・意見も欲しいという。急いで、市民や市外の方々、さらに私たちの意見を取り入れた陸前高田市のまちのビジョンを作りあげて、市民一体となって、協働のまちづくりの精神で再建を進めていかなければならない。</p> <p>○菅野 広紀</p> <p>長期ビジョンと財政見通しについての意見が出された。配布資料については、もう少し工夫が必要と感じた。</p> <p>○伊藤 明彦</p> <p>陸前高田市の将来は何で生きていくのか。長期ビジョンが必要だという意見があった。高田小学校は新築予定であるが、同じく浸水した小友小学校はなぜそのままなのか。</p> <p>○佐々木 一義</p> <p>昨年の豪雨による増水で沼田交差点が冠水し、交通が遮断されたので、復</p>

旧工事だけでなく農免道の改良も急務であり、浸水した高田小学校は移転されるのに、小友小学校はなぜ移転できないのか理由を知りたい。急激に被災住宅が増え、今までの行政割での対応は難しい。市にはビジョンが見えないし、近い将来訪れる財政に対して、議員はどのように考え検討して市政に反映させる行動をすべきではないかとの提言をいただきました。

早急な復旧復興工事と市民の安全な生活の共生をどのように進めるかの課題を得た。

○佐藤 信一

ゲリラ豪雨等による水害への内水面对策や、水田復旧による農業振興対策と共に市の将来ビジョンを示すべきといった意見が出された。また、雇用の場の確保についての意見もあった。住宅建設が増えることによる行政区の再編についても意見が出され、活発な報告会となった。

議会広聴広報特別委員会

広聴小委員会小委員長 松田 信之 殿

平成26年6月6日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成26年度議会報告会産業建設班

班 長 佐 藤 信 一 ㊟